

マレーシア映画イベントを開催しました

2022年1月17日(月)、18日(火)の2日にわたって、グローバル・カフェにて「マレーシア映画イベント」を対面で開催し、日本人学生5名、教職員4名の合計9名が参加しました。1日目は『Sepet』(日本語タイトル『細い目』)を鑑賞し、2日目にはその映画の解説およびQ&Aセッションを設けました。

今回鑑賞した『Sepet』は、ヤスミン・アマハド監督(1958年～2009年)の作品で、「細い目」は中国系の人を指す表現です。マレーシアでは、マレー系、マレー系中国人、マレー系インド人と民族ごとに映画のターゲットが絞られているようですが、この映画は使用されている言語がマレー語だけがメインではなかったことから多くの民族を魅了しました。ストーリーはマレーシアの多民族社会を背景に、マレー系の少女と中国系の少年の純愛をテーマとし、宗教や文化の違いなどによる様々な壁が描かれています。

映画解説では、インターナショナルオフィス教員でマレーシア出身のチュウ・フイ・ヤン先生から、主人公たちが直面する障壁について具体的な説明がありました。例えば、それぞれの家族の社会的地位の違い、イスラム教と仏教の考え方の違い、マレー系の民族が優遇される教育制度、などが取り上げられました。また、マレーシアの日常生活にも触れ、映画で描かれていたように実際に多言語(マレー語・英語・広東語・福建語・タミル語)が混ざって会話されていることやタブーとされることの説明がありました。

Q&Aセッションでは、映画の内容だけでなく、マレーシアの文化や歴史に関する質問が相次ぎ、予定終了時刻を大幅に超えて質疑が続きました。初めてマレーシア映画を見たことで、マレーシアへの興味が高まり、知らなかったことを知ることができたという声がありました。他国の映画からその国の文化を学ぶことができた貴重なイベントとなったと思います。



映画鑑賞の様子

鑑賞した映画“Sepet”



記念撮影